

防災気象情報 いつ・何をする？ 色とレベルで判断

それぞれのレベルに応じた避難行動を事前に確認しておきましょう。危険な場所にいる人は、これらの情報を参考に、レベル4までに自らの判断で避難してください。

レベル 1	災害まで 数日～1日前 早期注意情報	災害への心構えを一段高める 災害発生の危険性はまだ低い段階ですが、気象庁から「早期注意情報」が発表された場合には最新の防災気象情報などに留意するなど、災害への心構えを高めてください。
レベル 2	災害まで 半日～数時間前 注意報	災害リスクや避難情報の把握手段を再確認 災害発生に対する注意が高まってきた段階です。ハザードマップで災害の危険性のある区域や避難所、避難経路、避難のタイミングの再確認、持ち出し品の準備など、避難に備え自らの避難行動を確認しておきましょう。
レベル 3	災害まで 数～3時間前 警報	高齢者等は避難 他の人は避難準備や自主避難 高齢者や小さな子どもや障がい者など避難に時間を要するかたは、危険な場所から安全な場所へ避難しましょう。また、土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いの居住者もこの段階での避難が強く望まれます。
レベル 4	災害まで 2～0時間前 危険警報	危険な場所から 全員避難 町から「避難指示」が発令されている場合があります。対象地域のかたは、全員速やかに危険な場所から避難してください。
▲ここまでに安全な場所へ避難▲		
レベル 5	災害発生 特別警報	より安全な場所へすぐ移動 命が危険な状況です。すでに災害が発生しているか、発生直前の状況です。確認できていなくても、周囲で災害が発生している可能性があります。ただちに、がけから離れた部屋や建物のより高い場所へ避難してください。

防災の心がけと災害時における 避難のあり方について

浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内にお住まいのかたで、大雨時に災害発生が見込まれる場合や気象警報の発表時などは避難が必要です。

令和2年度に毎戸配布した総合防災ハザードマップ「みさと防災」で、お住まいの場所が危険かどうか、また、避難について確認をしておきましょう。

事前に準備をしておくことで、災害時にも落ち着いて対応できるようになります。ご自身とご家族の命を守るために、行動しましょう。



問合せ＝総務課 自治防災係 ☎76-1115

防災気象情報が変わりました

命を守る

あらためて考える防災と備え

防災気象情報が変わりました

令和6年6月に取りまとめられた「防災気象情報に関する検討会」の提言を踏まえ、気象庁と国土交通省は、令和8年5月29日(金)から新たな防災気象情報の運用を開始しました。

河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報などは、これまで警戒レベルとの対応が複雑でわかりにくくなっていましたが、今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断がしやすくなりました。

例えば、これまでの大雨警報は、「レベル3大雨警報」という名称に変更になり、レベルの数字と一緒に情報が伝えられます。レベル4やレベル3の情報が発表された場合には、河川の水位情報などを確認して早めの避難を心がけてください。

備えは十分ですか？

近年、集中豪雨や強風が多発しています。いつ起きるかわからない災害への備えはできていますか。今回の変更で「私たちはどのレベルで何をしなければいけないか」を確認しましょう。改めて、災害時に必要な防災備蓄品の準備をしましょう。

情報名称などが大きく変わりました。 町が発令する避難情報を確認してください。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

出典：気象庁

変更のポイント

警戒レベルの数字と情報の名称が必ずセットになります

レベル＋情報

レベル3大雨警報